

磐城時報

編輯人 岡田弘成
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
電話 二一〇
郵便 第一〇七五
代印 二〇〇
代刷 二〇〇
代送 二〇〇
代取 二〇〇
代配 二〇〇
代貯 二〇〇
代出 二〇〇
代入 二〇〇
代換 二〇〇
代補 二〇〇
代替 二〇〇
代用 二〇〇
代領 二〇〇
代交 二〇〇
代寄 二〇〇
代送 二〇〇
代取 二〇〇
代配 二〇〇
代貯 二〇〇
代出 二〇〇
代入 二〇〇
代換 二〇〇
代補 二〇〇
代替 二〇〇
代用 二〇〇
代領 二〇〇
代交 二〇〇
代寄 二〇〇

色川氏遂に

緑川町議を告訴

名譽毀損で今平署に日

初町會の舌禍明るみへ

(既報)色川火力製材所反対の意越え色川氏の名譽を毀損したる見書提出建議案の上程により平署のとして今十六日午前十時初町會は空前の混戦に陥り喧嘩護士武田清次郎氏を代理人とし悪罵に醜態な場面を展開したが平署に緑川喜川郎氏を相手取結局鈴木光吉氏の緊急動議により名譽毀損の告訴を提起した。ついで委員附託で梟が付き明十七日此の告訴を受理した平署では川日町會再開してその建議案採擇島司法主任係りで直ちに取調べか否かを決定する事になったがを開始する筈であるが去昭和四該初町會の席上緑川喜三郎町議年の出火事件は當時同工場の一が議場に於て發言の中に「去昭和四年同色川工場の出火忠正氏の幼兒が弄火によるもの事件は何者かの放火によるものとして決定してある事件だけにばコールタールを以て云々」と暗に色川氏は放火によつて巨額の保険金を騙取したりと論じて議場を混乱に陥れたが、當の色川勝三郎氏は緑川町方面から注視されてゐる。議の言は明らかに議事の範圍を

漁村振興調査

委員十四名を擧げて

本格的活動開始

疲弊その極にある漁村の甦生振されてゐたが、此の程水産會長興策として縣水産會が漁村の經赤土内務部長は左記の諸氏を委濟調査、漁村の經營調査に乗り員に任命前述二者に分類して調査出し各方面からその活躍を期待查を開始此の結果によつて恒久

調査委員會

今日態度決定

色川製材所許可反対の意見書提出

出建議案は既報の如く鈴木光吉督所に小林所長を訪問工事の根本品職、吉田五平、猪狩觀徳 匠教事業編入方を陳情した。

軍事座談會催開

十七日マルトモホールで

松野尾中佐を迎へて

平町十三日會當番第三小學校で熱河討伐に従軍部隊の功績を祝は今日例會軍事座談會とするして旭川の原隊に凱旋の途次平計劃で八方奔走中であつたが平町の令弟の宅に立寄るのを期と町搦小松野尾尾勝護士令兄陸軍歩兵中佐松野尾尾勝護士が滿洲を以て熱河討伐の軍事獨立守備隊松野尾尾勝護士として座談會を開催する事になった。

縣營木炭検査に

非難の聲上る

粗悪品の横行により

濱木炭の聲價下る

馬目雅治の五氏を調査委員とす同様燃え上る木炭もあり一般需で悪評されて検査當局に對するに昇給發令を見たが、本縣警部委員會附託となつたが全部委員は十四日來問題の火力工場現品不足の結果粗製亂造の弊によつて、近年組合當局並に場を始め精細な調査に努めてゐるものと見られるが最大の原因方當業者の熱心な努力により府が、今十六日午前十時から町會議室に委員會を開催各自持寄された木炭の生産出荷検査は官の聲價を有するに至つた地方生を報告書によつて明十七日の町會に提出する筈である。

匡救事業

編入を陳情

内郷村で

内郷村では七八年度匡救事業として小島白水兩部落の道路改修工事を執行したが更に本年度に字御堂鏡から大字宮に通ずる一里十町に亘る村道の改修を計色川製材所許可反対の意見書提出此の程沼田村長以下平土木監出建議案は既報の如く鈴木光吉督所に小林所長を訪問工事の根本品職、吉田五平、猪狩觀徳 匠教事業編入方を陳情した。

坊さん浮れる

無一文で大盡氣取

般若湯の利目覷面

高久村某寺住職佐藤春雄(二七)假名は十四日夜一杯きこしめしで「フー」と平町に來り同町田町料亭春の家方に上り込み飲むほどに氣がどろどろになり藝妓二名を呼んで大盡遊びをなしたが、いざ勘定となるや懐中無一文のため奥の手をだして暴れだし手に負へないので平署から係官出張漸く取押へ留置十五日朝嚴重説諭を加へて釋放したが、般若湯がききすぎて坊さんが平町の花町でステテコ踊りをするなどといふ事はお正月氣分だと平署員は苦笑してゐる。

埋立許可

小野晋平氏に

小名濱町小野晋平氏は江名町字折戸地内に於ける住宅地を目的とする公有地水面埋立ての出願中であつたが此の程許可の指令があつた。

▲總年數二萬一千四百九十二坪八二で第一期工事は認可の日から一ヶ月以内に、第二期

児童貯金

第二小學校に於ける第二期児童貯金調査は十一月一日現在の児童貯金調査は十一日理想の普及により金額も激増の好現象を示し尋常科の貯金人員は三十三人で全額一萬三千二百六十九圓十八錢に上り、高等科が百五十一人で二千八百四十四圓七十四錢で合計一千八百八十四圓一萬五千四百圓といふ一子子供だど馬鹿に出來ない金額に達してゐる學年別は左の如し。

- 一年一五六八(二七、八四)
- 二年一五九〇(一、四六)
- 三年一七七八(一、四四)
- 四年一六九〇(二、七六)
- 五年一三二七(一、二七)
- 六年一八八八(一、八五)
- 高等二年八六八(一、七二)

新年撞球大會

- 一、期日 一月二十一日午前八時より
 - 一、會場 平撞球場
 - 一、會費 一圓(晝夕食付)
 - 一、方法 三掛三人突連續四勝者を優勝候補とす
 - 一、賞品 一等二十圓、二等十圓 以下十等迄
 - 一、殊勳者賞 一等より五等迄
 - 一、猛者賞 一等より五等迄
 - 一、大口那賞 一等五圓、以下五等迄 多數來會を希望す。
- 主催 磐城時報社
後援 平撞球場

案内欄

(掲載申込歓迎)

▲求職
 ○小職員 双葉郡長塚村下長塚
 字矢澤七二江又八良(十六)高
 卒、○同江又正雄(二)中三
 修、○田村郡御館村駒枝七海
 清(二七)高卒、○内郷村高成
 御殿山五六小野朝壽(二六)高
 卒
 ○商店雑役 内郷村御殿字久
 原二一九近藤喜代美(二八)高
 卒、○平町極道小路濱田屋方
 佐藤吉五郎(二五)高卒、○平
 町番匠町一九小山田壽雄(二
 九)高卒、○相馬郡石神村深野
 高瀬四五藤原重徳(二四)農
 高卒、(平町)角城跡二(來栖
 一木(二二)高卒、○平町材木
 町三八佐々木要藏方小形傳太
 (二七)高一修

萬金物各種

宗像金物店

平町研町

各種贈寫取扱

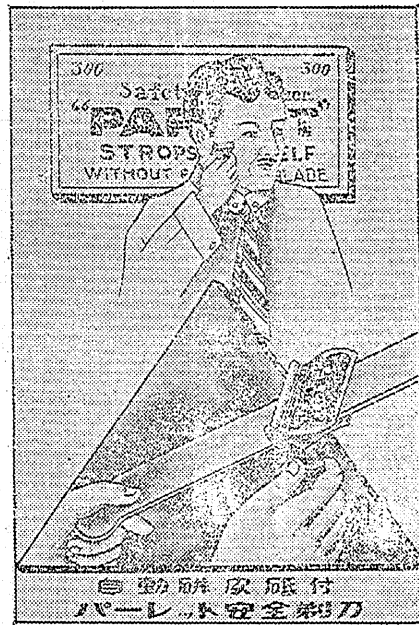
上坂贈寫所

平町十五丁目
 (呼出)電三六〇番

○小使 飯野村谷川瀬吉之作一
 (須藤榮(二二)高卒
 ○職工 小名濱町中島下町七七
 村上馨吾(一六)高卒、○永戸
 村下永井明神平六一阿部春明
 (二八)高卒、○茨城縣多賀郡
 松原町住吉榮藏(二六)高卒
 ▲求人
 ○土工 夫日給六五錢小名濱港
 修築事務所、○商山雜役小名
 濱町古港平野直康、○書生 月
 五、六圓位平町極道小路酒井
 喜代正、○女中 平町南町近藤
 ウメ、○出前持四合町本町新
 木椒介、○菓子製造工 平町新
 川町佐藤武政、○女中 平町四
 軒町佐々木龍若、○外交員 三
 丁目横尾仁三郎、○子守女 中
 平町白銀町猪狩丈夫、○旋盤
 工、鋸物 木型各一平町月見町
 佐藤鐵工場

化粧品、理髮器具一式

安全剃刀
 (付砥皮研削自)
 鏡衣白
 (種各小大)



芳香園理髮器具店

平驛前(電話六八〇番)

旅館 甲陽館

平驛前
 電話一四八番

貸切車の御用命の際は

是非電話六四〇番
 ニ子タク
 シーへた願します

平町二丁目
 ニ子タク
 シー
 電話六四〇番

磐城名産 干やなぎ

御土産用
 いか鹽辛・鯉鹽辛・鯉節
 平町土橋
 鈴藏魚店
 電話六六二番

十全の……豆炭

▲十全の豆炭は理想的家庭燃料で代價は木炭の三分の一
 火持のよい事木炭の五倍です
 ▲二十個の豆炭をコンロに入れ消し炭をまぜて火を起し二
 升の飯を煮き上げて煮物、燻物、吸物をこしらへお茶を
 沸かし
 ▲あとの火を三個の火鉢にとりわけて一夜を暖かく家庭の
 開業に送り……
 ▲残り火をお炬燵に分配して明日のお賽過ぎまで夜具をあ
 たためます。

豆炭販賣の元祖 菅野屋商店

平町四丁目 電話一五七番

電話開通披露

本日より電話五十五番を
 開通致しました御利用を願ひます
 四倉町字新町(松之月向ひ)
 音昇魚店
 電話九十五番

10日 体温計の検査日です

是非電話六四〇番
 ニ子タク
 シーへた願します
 新車も購入致しました
 平町二丁目
 ニ子タク
 シー
 電話六四〇番

支那そば

なべ焼

しるこ。ぞうに……(各々五錢)
 配達迅速
 平町字四丁目
 十屋
 電話三七三番

磐城名物 北海屋の

もち餠

御進物用箱入 一金二十錢
 チョコレート入もち餠 發賣
 北海屋の
 あましほさけ
 新巻 年中絶へず
 切軀もあります
 平町二丁目
 北海屋商店
 電話三八八番

石炭
 コークス
 豆炭

水野石炭商店
 平郵便局通り
 電話二九九番